

議案第1号

平成30年度 事業報告

少子高齢化社会が進展する中、課題克服のため「一億総活躍プラン」が示されました。高齢者に対してその経験を活かし益々元気で活躍する事が求められ、高齢者に対し就業機会を提供するシルバー人材センターの活性化が強く求められています。そこで、「第3期中期5カ年計画」の目標達成に向け策定された平成30年度事業計画を実行するため、理事会及び理事会専門部会で分担して事業に取り組んでまいりました。

この結果、年度末の会員数は656人で、高齢や健康等の理由による退会者が増加し前年に対し4.1%（28人）の減少となり、契約金額は4億1,284万円余で前年比1.1%（459万円）の減少となりました。また、派遣就業を含めた事業実績は4億2,650万円余で前年比0.7%の減少となりました。

契約額を部門別にみると、公共部門は0.1%（11万円）の微減でほぼ昨年並みの実績となりました。民間部門の事業所等においては、後半一部の企業で発注の減少はあったものの0.8%（190万円）の微増となりましたが、一般家庭部門においては、天候等の影響により集中する農作業や庭木剪定に対応できる会員が不足するなどにより、7.3%（638万円）の減と大幅に減少する結果となりました。

毎年少しずつ増加してきた事業実績も6年ぶりの減少となりましたが、発注者のご理解と共に会員の皆様のご努力により減少幅を最小限に抑える事ができました。

また、請負委任を基本としつつ、高齢者の就業機会の拡大と適正就業の推進のため、適正就業ガイドラインに基づき「臨・短・軽」の推進と共に「労働者派遣事業」に取り組みました。労働者派遣事業では本年度10社での就業が可能となり、今後ともこれらの事業に積極的に取り組んでいく必要があります。

「安全は全てに優先する」を基本に事故ゼロを目指し、「作業前後ミーティング」の励行を重点に安全対策を推進してきました。ここ数年間は2桁の事故が発生し、特に昨年度は脚立からの転落事故で重篤事故が発生したことから、年度始めに脚立使用時における安全講習を実施し、受講の徹底による安全意識向上に努めました。本年度の事故は物損2件と大幅に減少することができましたが、今後においても事故防止に向けた積極的な取り組みが必要です。

指定管理事業は、駒ヶ根市23施設及び宮田村12施設の指定を受け管理を行いました。指定期限となった駒ヶ根市の体育施設及び管の台3施設について、引き続き指定を受けるこ

